



## Material Safety Data Sheet

### APOLITEC PAINT DAAN ( 屋根用 / 外壁用 )

#### 1、製品及び会社情報

製品名： APOLITEC PAINT DAAN  
会社： 株式会社 G L I  
愛知県名古屋市名東区高針原 1-320  
www.apolitec.com  
連絡先： 052-734-8088  
052-734-8038

#### 2、危険有害性

本製剤は、指令 1999/45/EC およびその修正条項に基づいて、危険物とは分類されない。  
安全項目： S23(S) スプレーを吸い込まないこと。  
S29 排水管に流さないこと。

#### 3、組成及び成分情報

化学特性： 微細構造乳剤とガラス微小中空体を成分とする弾性塗料  
有害成分： 有害成分は含まない。

#### 4、応急措置

目に入った場合： コンタクトレンズが入っていないか調べ、入っていれば外すこと。ただちに 15 分以上、目を開けたまま流水で洗い流すこと。  
皮膚に付着した場合： 製剤が付着した衣類や靴を脱ぐこと。石鹼と水、または有名メーカー製皮膚洗浄剤で皮膚をしっかりと洗うこと。溶剤やシンナーは使わないこと。  
吸入した場合： 屋外へ退出すること。暖かくして休ませること。呼吸していないか、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸が停止する場合、訓練を受けた者が人工呼吸や酸素供給を行うこと。口からは何も与えないこと。意識がない場合、回復体位にして、医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合： ただちに医師の診察を受け、容器やラベルを見せること。暖かくして休ませること。無理に吐かせないこと。

#### 5、火災時の措置

適切な消火剤： 耐アルコール泡、二酸化炭素、粉末、水噴霧  
不適切な消火剤： 水噴射  
消火作業中の危険性： 情報なし  
特別な防護用具と手順： 自給式呼吸器と防護服を着用すること。鎮火後も、放水により容器の温度を十分に下げること。現場の緊急時対策に応じて、避難や現場封鎖が必要かどうか判断のこと。

**推奨事項：** 火災により、真っ黒な煙が発生する。分解生成物への暴露は健康被害を起すことがある。適切な呼吸装置が必要な場合もある。火にさらされた密閉容器は、水で冷却すること。火災から出た水は下水管や水路に流さないこと。

## 6、漏出時の措置

**人体に対する注意事項：** ガス状、霧状の製剤を吸い込まないようにすること。第7, 8項に記載する保護対策を参照のこと。

**環境保護のための注意事項：** 砂、土など適切な障害物を使って、下水管、水路、河川への流出を阻止すること。

**除去方法：** 漏出した製剤は、砂、土、バーミキュライト、珪藻土などの不燃性吸収材で集め、容器等に入れ、地方自治体の規則に従って処分すること(第13項参照)。排水管や水路に流出しないようにすること。洗剤を用いて掃除することが望ましい。溶剤の使用は避けること。製剤の汚染が湖、河川、下水道に及んだ場合、地方自治体の規則に従って関係当局に連絡すること。

## 7、取扱い及び保管上の注意

**安全な取扱いのための注意：** 容器の蓋をしっかり閉じておくこと。皮膚に付着したり、目に入らないようにすること。ガス状、霧状の製剤を吸い込まないこと。本製剤の取り扱い、保管、処理を行う場所での飲食、喫煙は禁ずる。作業中は飲食、喫煙前に手と顔を洗うこと。適切な人体保護具を装着すること(第8項参照)。中身を出す際に、決して加圧しないこと。本製剤容器は圧力容器ではない。必ず、元の容器と同じ材質の容器に入れて使用すること。労働法の安全衛生条項を順守すること。

**保管上の注意：** 地方自治体の規則に従って保管すること。乾燥した場所に保管すること。通気性の良い場所に保管すること。酸化剤、強アルカリ性物質、強酸性物質の近くに保管しないこと。保管場所は禁煙とする。保管場所は無断立ち入り禁止とする。開封後の容器はしっかり蓋を閉め、まっすぐに立てて保管し、こぼれないようにすること。

**包装に適していない材料：** 情報なし

## 8、暴露防止及び人体の保護

**工学的制御：** 十分に換気を行うこと。合理的に実施可能な場合、局所換気、十分な全体排気により、換気すること。

**有害成分に対する暴露防止：** 該当なし。

**人体のための防護用具：**

**呼吸保護：** 製品を大量に使用する場合、あるいは、閉鎖空間など、OEL(職業暴露限度)に迫るか超える可能性のある状況で使用する場合、適切な呼吸保護具を着用すること。スプレーなどにより噴霧が発生する可能性のある状況で製品を使用する場合、適切な呼吸装置を着用すること。

**手の保護：** 長時間または繰り返し使用する場合、ニトリル手袋を着用すること。肌荒れ防止クリームは、皮膚を製剤から守るが、製剤が付着した皮膚には塗らないこと。

**目の保護：** 液体飛散から目を守る安全ゴーグルを着用すること。

**皮膚の保護：** 著しい皮膚接触が生じる可能性のある状況では、不浸透性オーバーオールを着用すること。

**衛生措置：** 適正な産業衛生措置を実施すること。取扱い後、特に飲食や喫煙の前に手洗いのこと。

**環境暴露防止：** 排水管や水路に流出しないようにすること。

**追加推奨事項：** 以上、室温での取り扱いに関する注意事項である。高温での使用、噴霧やスプレーによる使用については、注意事項が別途必要になる場合がある。

| 9、物理的及び化学的性質 | 屋根用                    | 外壁用                         |
|--------------|------------------------|-----------------------------|
| 物理的状态：       | 液体                     | 液体                          |
| 色：           | 白色                     | 白色                          |
| 臭い：          | わずか                    | わずか                         |
| pH：          | 8.5～9                  | ～9                          |
| 沸点：          | 100℃                   | 100℃                        |
| 引火点：         | 100℃(クローズドカップ)         | 100℃(クローズドカップ)              |
| 自動発火温度：      | >100℃                  | >100℃                       |
| 爆発の危険性：      | なし                     | なし                          |
| 比重：          | 1.05 g/cm <sup>3</sup> | 1.00~1.10 g/cm <sup>3</sup> |
| 粘性：          | 25℃で 110KU             | 25℃で 1600～2000cP            |
| 酸化性：         | なし                     | なし                          |

| 10、安定性及び反応性 |   |
|-------------|---|
| 安定性：        | 通常使用条件下では安定。                                  |
| 避けるべき条件：    | 特になし  |
| 避けるべき材料：    | 強い発熱反応を防ぐため、酸化剤、強アルカリ性物質、強酸性物質の近くで使用、保管しないこと。 |
| 危険有害な分解生成物： | 一酸化炭素、二酸化炭素、煙、窒素酸化物。                          |

| 11、有害性情報   |   |
|------------|---|
| 目に入った場合：   | ヒリヒリする感じ  |
| 皮膚に付着した場合： | 長時間または繰り返しの接触の場合、炎症を起こすことがある。                       |
| 吸入した場合：    | 有害な影響は通常予測されない。                                     |
| 飲み込んだ場合：   | 使用中に少量が指から口に入る程度では害はない。大量に飲み込んだ場合には、消化障害が起こる可能性がある。 |

| 12、環境影響情報   |  |
|-------------|--|
| 環境動態及び環境分布： | 製剤自体に関するデータはない。<br>排水管や水路に流出しないようにすること。<br>本製剤は、危険製剤指令 1999/45/EC の従来法に従って評価を受け、環境に対して危険性を有するとは分類されていない。 |
| 生態毒性効果：     | 水生生物への悪影響は予測されない。  |
| 生物蓄積：       | 生物蓄積の可能性はない。   |
| 水処理施設への影響：  | バクテリアへの悪影響は予測されない。   |

| 13、廃棄上の注意    |   |
|--------------|---|
| 製品の廃棄処分：     | 排水管や水路に流出しないようにすること。<br>国、地方自治体の適用規制に従って廃棄処分すること。<br>現在、供給者の知る限りでは、危険廃棄物とは見なされていない。 |
| 容器及び包装の廃棄処分： | 包装は再利用してもよい。現地の規制に従って廃棄処分すること。<br>廃棄物コードは、できれば廃棄物処分当局との協議の上、利用者が指定すること。             |

## 14、輸送上の注意

|                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 道路・鉄道輸送 (ADR/RID) : | ADR/RID には該当しない |
| 海上輸送 (IMDG) :       | IMDG には該当しない    |
| 航空輸送 (IATA) :       | IATA には該当しない    |

本製剤は、国際輸送規則 (ADR/RID, IMDG, ICA/IATA) に基づいて、危険物とは分類されない。

## 15、適用法令

本製剤は、指令 88/379/EEC に基づいて、危険物とは分類されない。  
安全データシートは、指令 453/2010/EC に従って作成した。

|              |   |
|--------------|---|
| オゾン層破壊化学物質 : | 本製品にはオゾン層破壊化学物質は含まれない。本製品の生産段階においても、オゾン層破壊化学物質は使用していない。 |
| 化学品安全性評価 :   | 該当なし。   |

## 16、その他の情報

この安全データシートに記載されている情報は、91/155/ECC に適合するよう記載されています。この安全データシートの情報は、信頼できると思われる情報源から入手し正確であるものと考えられておりますが、保証をするものではありません。また、当社の知識や管理の及ぶ範囲を超えて使用することができることから、この情報は、明示または黙示的な表明および保証をするものではなく、アドバイス目的でのみ提供しております。